

西
史

とつておきの話

212

南相馬市博物館学芸員
稻葉修

只見とつておきの魚たち②



只見町に天然イワナは
いるの？

只見町の魚は、イワナです。「家の脇の用水路にいる!」「クラスの友だちと釣った!」「民宿の夕食に出る!」。都会の釣人あこがれのイワナも、只見町ではごくありふれた魚です。しかし、このイワナ、只見町では実は絶滅している可能性があるのです。

うそだあ 田子倉湖にたくさんいる。小魚を食べて 60 センチ以上になる大物もいるよ。確かに只見町にイワナはたくさんいます。でも、ここでいうイワナは、ずっと昔から只見町に住んでいる只見町在来の（天然の）イワナのことです。

イワナについて簡単におさらいをしましよう。サケ科の魚イワナは日本では北海道から本州に分布し、斑点の大きさや色の違いなどから、地域によりアメマス、ニッコウイワナ、ヤマトイワナ、ゴギに分けられ

られます。本州の多くでは水温が低い山の谷川に住み、昆虫やカエルなど、効率でござります。

ルなどの小動物を食べています

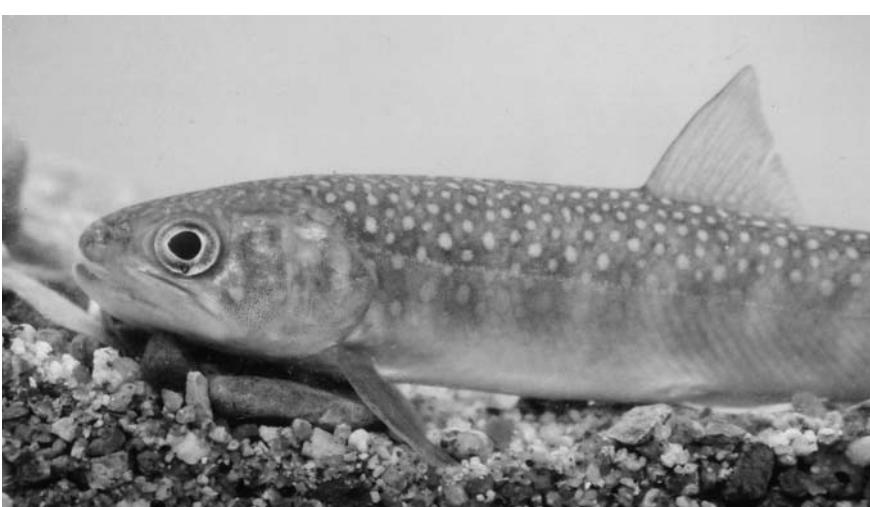
含まれ、もともと生息していた在来イワナはニッコウイワナであつたと思われます。

只見町の在来イワナであるニッコウイワナがまだどこかに生息している可能性もあります。ぜひ見つけ出してください。

北海道や東北北部などの川では、河口近くまで水温が低いため海の近くにいたり、海に降りて魚を食

生息しているのでしょうか。2011年時点では、残念ながら筆者は

いる可能性もあります。ぜひ見つけていただきたいと思います。



只見川水系で確認された二ツノイワナ